



第 77 期
報 告 書

(平成24年3月1日から
平成25年2月28日まで)

岡谷鋼機株式会社

証券コード 7485

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第77期(平成24年3月1日から平成25年2月28日まで)の決算を終了いたしましたので、ここに営業の概況等をご報告申し上げます。

平成25年5月

取締役社長

岡谷 篤 一



営業の概況

営業の経過及び成果

当連結会計年度における世界経済は、欧州経済の長期停滞、新興国経済の減速により厳しい状況で推移しました。日本経済は、前半は東日本大震災復興需要、消費刺激策によって緩やかな回復の動きはみられたものの、後半は長引く円高や近隣諸国との関係悪化により輸出が伸び悩みました。年末の政権交代を機に抜本的な経済対策への期待が高まり、円高の是正、日経平均株価の回復がみられる中、期末を迎えました。

このような環境下にあって、連結売上高は6,920億円で前期比1.8%の増収となりました。

損益につきましては、営業利益は114億4百万円(前期比19.6%増)、経常利益は134億8百万円(前期比19.6%増)となりました。当期純利益は87億31百万円で、前年は特別利益の計上があったこともあり前期比2.9%増となりました。

なお、当期において国内では、9月に株式会社新池田を設立し、海外では、6月にベトナムで機械工具販売会社の営業開始、12月にブラジルに現地法人を設立、中国では特殊鋼鋼材加工会社が操業を開始しました。さらに次年度に向けて中国では浙江省及び上海市に製

造工場の操業準備、米国現地法人の事務所増設、メキシコ事務所開設、インド現地法人の支店開設、タイでの機械工具販売会社の事務所開設に向け準備を開始するなど、拠点の充実に努めております。

対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、欧州経済の停滞はあるものの、円安効果、東北の復興需要、金融緩和・財政出動・成長戦略による経済対策の実行が期待され、加えて国内外での自動車生産の増加と堅調な米国経済に支えられ緩やかな回復が予想されます。

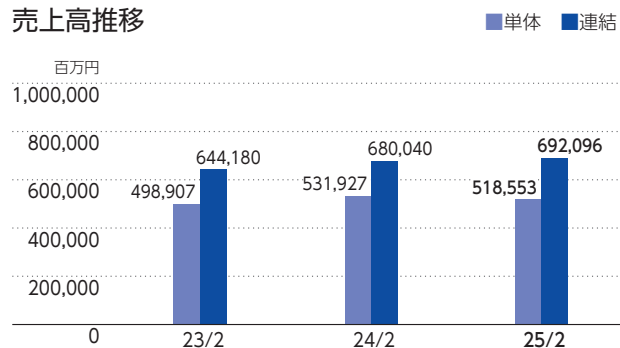
このような経済環境において、当社は国内外のグループ会社共々社会的責任を重視し、世界市場において、“ものづくり”に貢献する感性豊かな「グローバル最適調達パートナー」を目指し、中期計画の課題の達成に注力してまいります。

また、内部統制の充実・強化、コンプライアンスの徹底、環境に配慮した事業活動の推進など、経営品質の継続的改善にも努めてまいります。

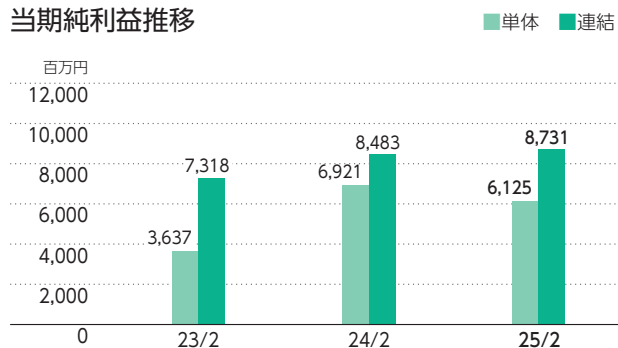
株主の皆様には、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

財務ハイライト

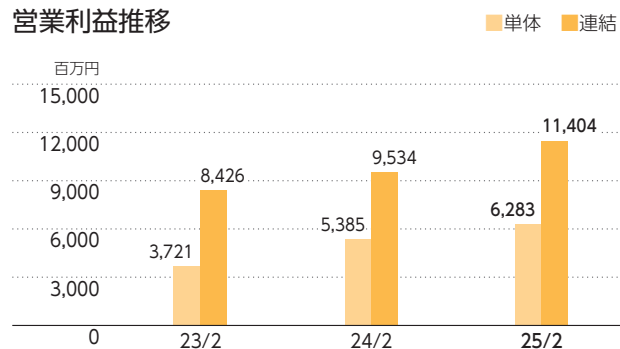
売上高推移



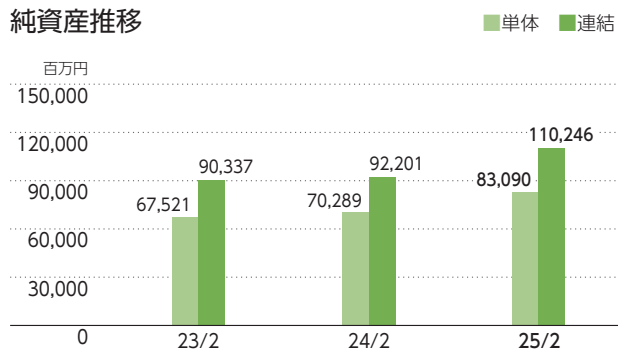
当期純利益推移



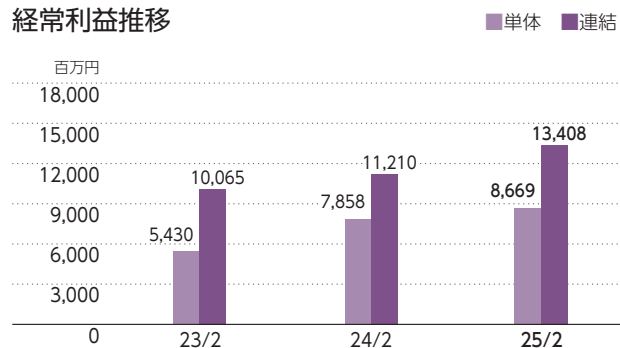
営業利益推移



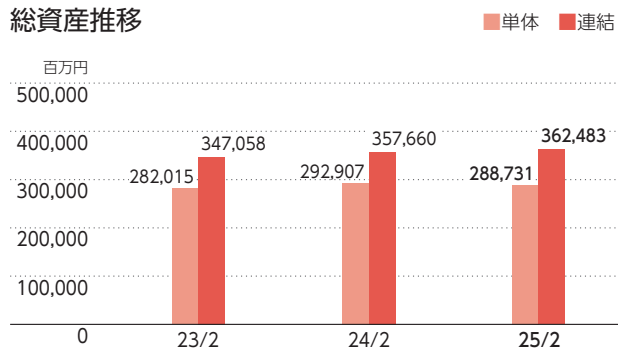
純資産推移



経常利益推移



総資産推移



トピックス

1. ブラジル現地法人設立について

当社は、経済成長が見込まれる同国での商社活動を強化するため、サンパウロ市にブラジル岡谷鋼機会社を設立し、2013年3月に営業を開始しました。



ブラジル岡谷鋼機会社の入居ビル

2. 中国特殊鋼鋼材加工子会社設立について

当社子会社の株式会社岡谷特殊鋼センターは、中国大連市に鋼材販売、鋼材切断品製造・販売、鋼材加工品販売を行う子会社 岡谷特殊鋼製品（大連）有限公司を設立し、2012年12月に操業を開始しました。



岡谷特殊鋼製品（大連）有限公司の入居工場

3. 池田鋼機株式会社に対する支援（子会社の設立）について

当社は、取引先であった池田鋼機株式会社に対し経営支援を行うことを決定し、同社の取引内容を引き継いで、鋼材・機材販売を行う新会社 株式会社新池田を2012年9月に設立しました。



株式会社新池田

4. 中国パイプ事業合弁子会社設立について

当社は、中国浙江省に、シンニチ工業株式会社及び当社海外子会社との合弁による自動車及び産業用パイプ製造子会社 浙江岡新制管有限公司を設立し、2013年3月より営業を開始しました。

5. Union Autoparts Manufacturing Co., Ltd. の設備増強について

当社子会社のUnion Autoparts Manufacturing Co., Ltd.（タイ）は、第三工場の自動車部品向け亜鉛メッキラインを増強し、2013年4月より稼動しました。好調なタイ地区の自動車生産に対応していきます。



亜鉛メッキライン

6. 米国岡谷鋼機会社 レキシントン支店 アトランタ事務所開設について

当社子会社の米国岡谷鋼機会社は、米国南東部地区における営業活動を行うために、レキシントン支店傘下にアトランタ事務所を2013年4月に開設しました。



アトランタ事務所の入居ビル

7. インド岡谷鋼機会社 バンガロール支店開設について

当社子会社のインド岡谷鋼機会社は、発展が著しいインド南部において鉄鋼・機械・工具等の供給を行うために、バンガロール支店を2013年4月に開設しました。



バンガロール支店の入居ビル

8. Siam Okaya Machine & Tool Co., Ltd. の事務所開設について

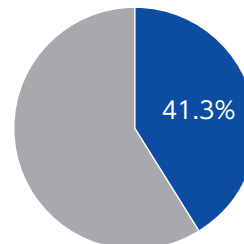
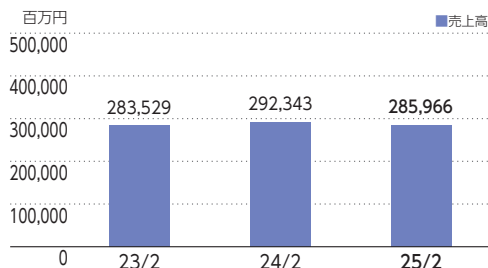
当社子会社のSiam Okaya Machine & Tool Co., Ltd.（タイ）は、ユーザーに密着した営業活動を行うために、プラーチンプリ事務所、ラヨン事務所を2013年3月に開設しました。

セグメント情報

鉄 鋼



鉄屑、棒鋼、鋼矢板、H型鋼、鋼板、鋼管、機械構造用炭素鋼、合金鋼、軸受鋼、工具鋼、ステンレス鋼 他

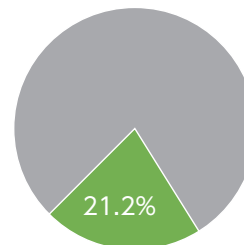
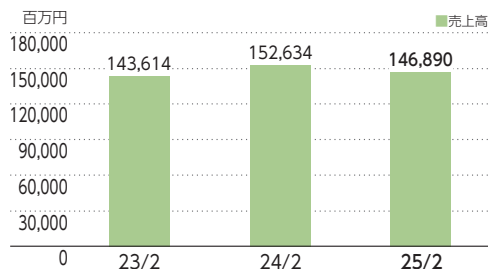


製造業関連では、上期は順調でしたが下期は低調に推移しました。土木・建設向けは復興案件が出始めているものの全体としては低調でした。輸出は、タイ、インドネシア、米国向けが順調に推移しました。鉄鋼部門全体では、前期比2%減収の2,859億円の売上高となりました。

情報・電機



銅・アルミ、レアアース、電子部材、汎用電機品、映像機器、半導体・周辺電子部品、ソフトウェア開発・販売 他

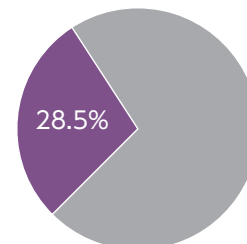
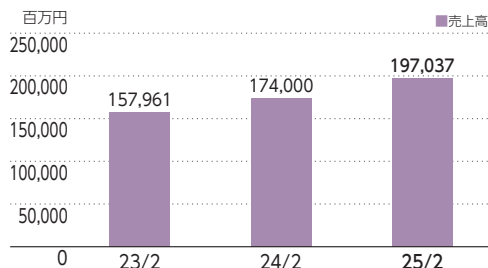


非鉄金属分野では、家電業界の低迷により電子部材の売上が減少し、また、原材料関連は需要低迷に加え市況下落により減少しました。エレクトロニクス分野では、電子部品、半導体などの海外向け及び自動車関連向けが順調に推移しました。情報・電機部門全体では、前期比4%減収の1,468億円の売上高となりました。

産業資材



工作機械、工具、産業用ロボット、自動車部品、合成樹脂原料、樹脂成形品、環境・リサイクル対応設備、半導体・電子関連設備機器 他



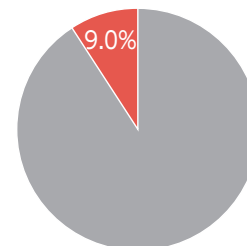
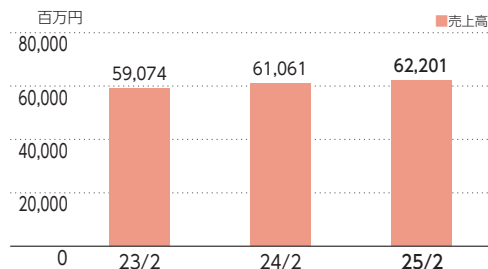
メカトロ分野、化成品分野ともに、国内の自動車向けに部品・工具、樹脂原料等が堅調に推移しました。また海外の自動車向けに、メカトロ分野では設備機械が、化成品分野では軽量化対応の樹脂原料が増加しました。

産業資材部門全体では、前期比13%増収の1,970億円の売上高となりました。

生活産業



配管資材、住設機器、住宅用資材、不動産開発、分譲マンション、水産物、畜産物、倉庫業 他



配管住設分野では市販向け・ユーザー向けともに低調に推移しました。建設分野も建築案件が減少しました。

食品分野では水産品、加工食品ともに輸入が順調に増加しました。

生活産業部門全体では、前期比2%増収の622億円の売上高となりました。

連結財務諸表

連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

| 科目 | 当 期 (平成25年2月28日現在) | 前 期 (平成24年2月29日現在) |
|--------------|-----------------------|-----------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 220,745 | 230,610 |
| 固定資産 | 141,738 | 127,049 |
| 有形固定資産 | 40,252 | 40,091 |
| 無形固定資産 | 976 | 830 |
| 投資その他の資産 | 100,509 | 86,127 |
| 資産合計 | 362,483 | 357,660 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 209,784 | 224,818 |
| 固定負債 | 42,453 | 40,640 |
| 負債合計 | 252,237 | 265,458 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | 76,516 | 68,940 |
| 資本金 | 9,128 | 9,128 |
| 資本剰余金 | 7,798 | 7,798 |
| 利益剰余金 | 60,036 | 52,461 |
| 自己株式 | △ 446 | △ 446 |
| その他の包括利益累計額 | 26,496 | 16,494 |
| その他有価証券評価差額金 | 29,756 | 21,859 |
| 繰延ヘッジ損益 | △ 1 | 18 |
| 為替換算調整勘定 | △ 3,258 | △ 5,383 |
| 少数株主持分 | 7,233 | 6,766 |
| 純資産合計 | 110,246 | 92,201 |
| 負債純資産合計 | 362,483 | 357,660 |

連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

| 科目 | 当 期 (平成24年3月1日から 平成25年2月28日まで) | 前 期 (平成23年3月1日から 平成24年2月29日まで) |
|----------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 売上高 | 692,096 | 680,040 |
| 売上原価 | 646,454 | 636,702 |
| 売上総利益 | 45,642 | 43,337 |
| 販売費及び一般管理費 | 34,237 | 33,802 |
| 営業利益 | 11,404 | 9,534 |
| 営業外収益 | 4,279 | 4,124 |
| 営業外費用 | 2,275 | 2,447 |
| 経常利益 | 13,408 | 11,210 |
| 特別利益 | 52 | 2,257 |
| 特別損失 | 278 | 1,170 |
| 税金等調整前当期純利益 | 13,182 | 12,298 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 4,424 | 3,516 |
| 法人税等調整額 | △ 412 | 15 |
| 少数株主損益調整前当期純利益 | 9,169 | 8,765 |
| 少数株主利益 | 438 | 282 |
| 当期純利益 | 8,731 | 8,483 |

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

| 科目 | 当 期 (平成24年3月1日から 平成25年2月28日まで) | 前 期 (平成23年3月1日から 平成24年2月29日まで) |
|------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 16,104 | 1,733 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 3,346 | △ 3,753 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 12,260 | 2,633 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 824 | △ 403 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | 1,322 | 210 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 6,985 | 6,774 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 8,307 | 6,985 |

連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

| 当 期 (平成24年3月1日から 平成25年2月28日まで) | 株主資本 | | | | その他の包括利益累計額 | | | | 少数株主 持分 | 純資産 合計 | |
|--------------------------------------|-------|-----------|-----------|-------|-------------|------------------|-------------|--------------|------------|-----------|-------------------|
| | 資本金 | 資本 剰余金 | 利益 剰余金 | 自己株式 | 株主資本 合計 | その他有価証 券評価差額金 | 繰延ヘッジ 損益 | 為替換算 調整勘定 | | | その他の包括 利益累計額合計 |
| 平成24年3月1日残高 | 9,128 | 7,798 | 52,461 | △ 446 | 68,940 | 21,859 | 18 | △ 5,383 | 16,494 | 6,766 | 92,201 |
| 当期の変動額 | | | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △ 1,156 | | △ 1,156 | | | | | | △ 1,156 |
| 当期純利益 | | | 8,731 | | 8,731 | | | | | | 8,731 |
| 自己株式の取得 | | | | △ 0 | △ 0 | | | | | | △ 0 |
| 自己株式の処分 | | | △ 0 | 0 | 0 | | | | | | 0 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額 (純額) | | | | | | 7,897 | △ 19 | 2,124 | 10,002 | 467 | 10,469 |
| 当期の変動額合計 | | | 7,575 | △ 0 | 7,575 | 7,897 | △ 19 | 2,124 | 10,002 | 467 | 18,044 |
| 平成25年2月28日残高 | 9,128 | 7,798 | 60,036 | △ 446 | 76,516 | 29,756 | △ 1 | △ 3,258 | 26,496 | 7,233 | 110,246 |

単体財務諸表

単体貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

| 科目 | 当 期 (平成25年2月28日現在) | 前 期 (平成24年2月29日現在) |
|--------------|-----------------------|-----------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | 159,168 | 175,649 |
| 固定資産 | 129,562 | 117,258 |
| 有形固定資産 | 26,235 | 27,327 |
| 無形固定資産 | 333 | 468 |
| 投資その他の資産 | 102,993 | 89,462 |
| 資産合計 | 288,731 | 292,907 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | 167,449 | 186,695 |
| 固定負債 | 38,190 | 35,922 |
| 負債合計 | 205,640 | 222,618 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | 53,618 | 48,649 |
| 資本金 | 9,128 | 9,128 |
| 資本剰余金 | 7,798 | 7,798 |
| 利益剰余金 | 37,127 | 32,157 |
| 自己株式 | △ 434 | △ 434 |
| 評価・換算差額等 | 29,471 | 21,639 |
| その他有価証券評価差額金 | 29,472 | 21,623 |
| 繰延ヘッジ損益 | △ 1 | 15 |
| 純資産合計 | 83,090 | 70,289 |
| 負債純資産合計 | 288,731 | 292,907 |

単体損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

| 科目 | 当 期 (平成24年3月1日から 平成25年2月28日まで) | 前 期 (平成23年3月1日から 平成24年2月29日まで) |
|--------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 売上高 | 518,553 | 531,927 |
| 売上原価 | 494,897 | 509,040 |
| 売上総利益 | 23,656 | 22,887 |
| 販売費及び一般管理費 | 17,373 | 17,501 |
| 営業利益 | 6,283 | 5,385 |
| 営業外収益 | 3,650 | 3,895 |
| 営業外費用 | 1,264 | 1,422 |
| 経常利益 | 8,669 | 7,858 |
| 特別利益 | 19 | 2,071 |
| 特別損失 | 235 | 1,261 |
| 税引前当期純利益 | 8,453 | 8,669 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,828 | 1,791 |
| 法人税等調整額 | △ 501 | △ 43 |
| 当期純利益 | 6,125 | 6,921 |

単体株主資本等変動計算書（要旨）

（単位：百万円）

| 当 期 (平成24年3月1日から 平成25年2月28日まで) | 株主資本 利益剰余金 | | | | | | | 評価・換算差額等 | | | | 純資産合計 | | |
|--------------------------------------|---------------|----------|-------|---------------|-------------|-------------|--------|----------|------------|----------------------|-------------|-------|----------------|-------------|
| | 資本金 | その他利益剰余金 | | | | | | 自己株式 | 株主資本 合計 | その他有価 証券 評価差額金 | 繰延ヘッジ 損益 | | 評価・換算 差額等合計 | |
| | | 資本剰余金 | 利益準備金 | 買換資産 圧縮積立金 | 特別償却 積立金 | 配当準備 積立金 | 別途積立金 | | | | | | | 繰越利益 剰余金 |
| 平成24年3月1日残高 | 9,128 | 7,798 | 1,244 | 1,266 | 14 | 100 | 21,800 | 7,732 | △ 434 | 48,649 | 21,623 | 15 | 21,639 | 70,289 |
| 当期の変動額 | | | | | | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | | | △1,156 | | △1,156 | | | | △1,156 |
| 当期純利益 | | | | | | | | 6,125 | | 6,125 | | | | 6,125 |
| 自己株式の取得 | | | | | | | | 0 | △ 0 | △ 0 | | | | △ 0 |
| 自己株式の処分 | | | | | | | | 0 | 0 | 0 | | | | 0 |
| 買換資産圧縮積立金の取崩 | | | | △ 23 | | | | 23 | | - | | | | - |
| 特別償却積立金の取崩 | | | | | △ 5 | | | 5 | | - | | | | - |
| 別途積立金の積立 | | | | | | | 6,000 | △6,000 | | - | | | | - |
| 株主資本以外の項目の当期変動額（純額） | | | | | | | | | | - | 7,848 | △ 17 | 7,831 | 7,831 |
| 当期の変動額合計 | - | - | - | △ 23 | △ 5 | - | 6,000 | △1,001 | △ 0 | 4,969 | 7,848 | △ 17 | 7,831 | 12,801 |
| 平成25年2月28日残高 | 9,128 | 7,798 | 1,244 | 1,243 | 8 | 100 | 27,800 | 6,730 | △ 434 | 53,618 | 29,472 | △ 1 | 29,471 | 83,090 |

岡谷鋼機のCSR－経営的側面－

当社は、世界市場の中で、ものづくりに貢献する活動を通じて、あらゆるステークホルダーに受け容れられる企業であり続けたいと考えます。地球市民としての自覚を持ち、地球環境に配慮した視点で、『グローバル最適調達パートナー』としての総合力を発揮することにより社会的責任を果たし、持続的発展を目指してまいります。

◆ 当社のCSRに対する基本的な考え方

1. 持続可能な成長を目指し、社会的責任を果たすとともに、経営品質の継続的改善、内部統制の充実・強化に努めることにより、企業価値を高める。
2. 株主に対して、最大限の還元を行うべく努力する。
3. 国の内外を問わず人権を尊重し、関係法令、国際ルールおよびその精神を遵守する。
4. 岡谷鋼機グループ環境方針に則り、自主的、積極的に行動する。
5. 社員に対して、公正な処遇を実施し、多様な自己啓発の機会を提供する。
6. 良き地球市民として、地域および社会に対し貢献活動を行う。

※これらの内容は「企業行動憲章」にも記載されております。全文は当社ホームページをご参照ください。
(<http://www.okaya.co.jp/>)

◆ 当社のCSRのルーツ

1836年（天保7年）秋、6代惣助は笹屋の経営方針および日常の心得として「店則」「家則」などを掲げ、さらに毎朝就業前に全員で唱和する「日誦五則^{にっしょうごそく}」を定め、実践しました。これらは、現代におけるCSRの精神に相通じるものであり、笹屋の店員としての業務・営業姿勢を方向づけ、商いの繁栄に寄与したと考えられております。

「日誦五則」

- 一、外を飾らず心を磨くべし
- 一、分限を知り贅を慎むべし
- 一、虚を憎み誠を重んずべし
- 一、働くを楽しみ懶^{らん}を羞^{しゅう}とすべし
- 一、責任を知り力を協すべし

※懶（らん）：怠けること、羞（しゅう）：恥

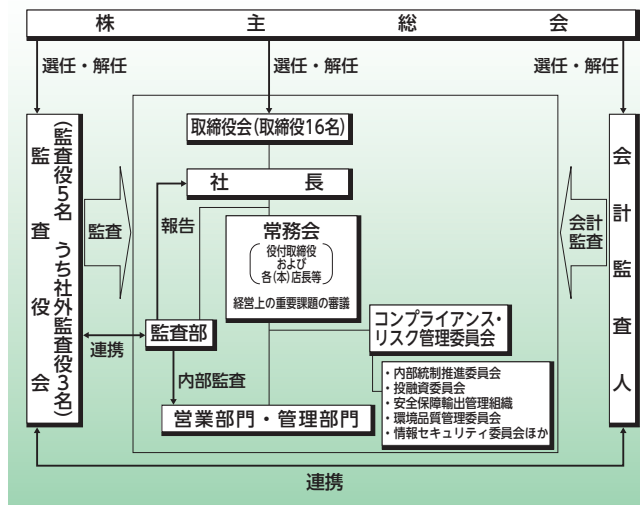
岡谷鋼機のCSR－経営的側面－

◆ コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社は、商社としての社会的責任を自覚し、コーポレート・ガバナンス、コンプライアンスおよびリスク管理を経営の重要な課題と位置付けております。社員一人一人の行動が、当社への信頼を生み出し持続的な成長をもたらす重要な要素と認識し、より高い倫理観に根ざした事業活動を行う企業風土の構築を目指しております。

また、課題達成のためのインフラとして内部統制システムを位置付け、継続的に充実・強化を図っております。

【コーポレート・ガバナンス体制図】



◆ 経営品質の向上について

「サービス品質」の向上を図りお客様のご要望、ご期待に応えるべく、当社では品質方針を掲げ品質マネジメントシステムを全社システムとして構築し、ISO9001の認証を取得しております。当社以上の規模の商社において、全社的なISO9001の認証取得は他にあまり例がありません。今後とも品質マネジメントシステムの運用を通じて、「サービス品質」および「業務品質」を向上させ、さらには「経営品質」を高めてまいります。

◆ コンプライアンスについて

社内にコンプライアンス・リスク管理委員会を設け、コンプライアンスの徹底と実践に努めております。また、社会から信頼される企業であり続けるために法令遵守と企業倫理について具体的に記載した「コンプライアンスマニュアル」を作成し、全社員に配布するとともに、各種講習会を開催し、法令遵守に努めております。

岡谷鋼機のCSR—社会的側面—

〔社員とともに〕

◆ 海外研修制度

中期計画Gih-15における「若手の海外研修」として、1年間当社の海外拠点に派遣し、研修生としてOJTを行う「海外トレーニー制度」、1週間当社の海外拠点に派遣し、自身の提案したテーマに基づき、現地にて調査・研究を行う「若手海外研修」、3ヶ月間海外の語学学校で勉強を行う「海外語学研修」を取り入れております。



◆ 禅寺研修

中期計画Gih-15における「心の教育」の一環として、新入社員を対象に、禅寺研修を行いました。

僧侶からの法話、座禅、写経などを通して、自らを客観的に見つめ直し、感謝と我慢の心を学びました。



〔地域とともに〕

◆ 特別褒賞制度

ボランティア活動などにより、地域、社会に貢献した個人、グループを毎年1回表彰し、社員の社会貢献活動を称えております。

2012年度は、東日本大震災復興支援のボランティア活動を行った個人4名など、計6名を表彰いたしました。

◆ 街の景観美化活動

年に数回、本社周辺を社員で清掃しており、新入社員の研修にも本社周辺の清掃活動を取り入れております。

大阪店では毎月一度、社員が朝に大阪店周辺の清掃活動を行っています。



◆ チーム・オランダへの協力

琵琶湖畔にて開催された鳥人間コンテストに、在大阪オランダ総領事館後援のもと「チーム・オランダ」が編成され、海外チームとして参加しました。

当社子会社の東海プレス工業(株)（愛知県弥富市）は、機体の組み付け作業を行うための場所を提供し協力しました。また、大会当日は、当社社員も応援に参加し、グループとして海外チームの参加に協力しました。



岡谷鋼機のCSR—環境的側面—

当社は、地球環境と事業活動との密接なかかわりをよく認識のうえ、地球環境の保全と経済社会の持続的な発展を常に念頭に置き、環境への取組みを進めております。

◆ 環境ISO14001認証の取得

当社は1999年9月に環境宣言を行い、それ以降、岡谷鋼機グループ環境方針に沿って環境マネジメントシステムを構築し、環境保全活動に取り組んでおります。2000年6月に審査登録機関LRQA（ロイド・レジスター社）の審査に合格し、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を取得しました。以降、引続きグループ会社を含め認証サイトを拡大しております。

【ISO14001グループ認証書】



◆ 継続的改善に向けて

当社では、環境品質管理規程に則り、PDCAサイクルによる活動を実施し継続的改善に取り組んでおります。

これらの活動状況は、内部監査員による監査で年一回確認し、さらに、外部審査機関による審査で半年ごとに確認しています。また、この結果は、経営層に報告し、見直しを行います。

利益配分に関する基本方針および株主優待について

1. 配当政策

当社グループは、株主に対する利益還元を企業経営の重要政策の一つと考えており、競争力を維持・強化して株主資本の充実に努めつつ、配当を行うことを基本方針としております。

2. 株主優待

当期（2013年2月期）株主優待として、期末所有株式数500株以上の株主様に、《山の幻 愛知米ミネアサヒ5kg》をお贈りいたします。

また、第2四半期末所有株式数1,000株以上の株主様に、《山の幻 愛知米ミネアサヒ5kg》をお贈りいたします。

会社概要 (平成25年2月28日現在)

会社概要

| | |
|------|---|
| 商号 | 岡谷鋼機株式会社 OKAYA & CO., LTD. |
| 所在地 | 名古屋市中区栄二丁目4番18号 |
| 創設 | 寛文9年(1669年) |
| 設立 | 昭和12年(1937年) |
| 資本金 | 91億28百万円 |
| 事業 | 国内販売・輸出入貿易業・建設業・ 倉庫業・不動産業 |
| 就業人員 | 連結 4,800名 単体 661名 |
| URL | http://www.okaya.co.jp/ |

役員

(平成25年5月23日現在)

| | |
|--------------|-------|
| 代表取締役専任常務取締役 | 岡谷 篤一 |
| 代表取締役専任常務取締役 | 川松 康吉 |
| 代表取締役専任常務取締役 | 勝田 匡彦 |
| 代表取締役専任常務取締役 | 二宮 秀司 |
| 代表取締役専任常務取締役 | 馬場 彰 |
| 代表取締役専任常務取締役 | 稲生 豊 |
| 代表取締役専任常務取締役 | 岡谷 健誠 |
| 代表取締役専任常務取締役 | 服部 彰彦 |
| 代表取締役専任常務取締役 | 坪内 宣邦 |
| 代表取締役専任常務取締役 | 金剛 起彦 |
| 代表取締役専任常務取締役 | 和田 文彦 |
| 代表取締役専任常務取締役 | 萩原 孝紀 |
| 代表取締役専任常務取締役 | 平野 隆裕 |
| 代表取締役専任常務取締役 | 右田 久 |
| 代表取締役専任常務取締役 | 田島 昇 |
| 代表取締役専任常務取締役 | 矢野 憲二 |
| 代表取締役専任常務取締役 | 岩田 邦雄 |
| 代表取締役専任常務取締役 | 石田 晴雄 |
| 代表取締役専任常務取締役 | 島田 純子 |
| 代表取締役専任常務取締役 | 上田 栗次 |
| 代表取締役専任常務取締役 | 小栗 宏 |

ネットワーク

1. 当社

| | |
|----------|--|
| 本社・名古屋本店 | 名古屋市中区栄二丁目4番18号 |
| 東京本店 | 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 (丸の内中央ビル) |
| | 東京都新宿区西新宿三丁目7番1号 (新宿パークタワー) |
| 大阪店 | 大阪市西区新町一丁目27番5号 |
| 国内支店 | 豊田、刈谷、静岡、浜松、 北海道(苫小牧市)、 東北(仙台市)、新潟、 北陸(富山市)、中国(広島市)、 九州(福岡市) |

2. 関係会社等

| | |
|----|--|
| 国内 | (株)NaITO(東京都他)、岡谷マート(株)(東京都他)、岡谷鋼機九州(株)(福岡市他)、東海プレス工業(株)(愛知県弥富市)、中部合成樹脂工業(株)(愛知県豊川市他)、岡谷建材(株)(東京都他)、岡谷物流(株)(名古屋市他)、六合エレメック(株)(名古屋市他)、岡谷スチール(株)(名古屋市他)、岡谷エレクトロニクス(株)(横浜市他)、岡谷機電(株)(名古屋市他)、(株)岡谷特殊鋼センター(愛知県丹羽郡)、東海岡谷機材(株)(愛知県刈谷市他) 他 |
| 海外 | |

米国岡谷鋼機会社、カナダ岡谷鋼機会社、ブラジル岡谷鋼機会社、欧州岡谷鋼機会社(ドイツ他)、インド岡谷鋼機会社、サイアムスリヤ会社(タイ)、タイ岡谷鋼機会社、シンガポール岡谷鋼機会社、ベトナム岡谷鋼機会社、インドネシア岡谷鋼機会社、広州岡谷鋼機有限公司(中国)、香港岡谷鋼機有限公司(中国)、北京岡谷鋼機有限公司(中国)、天津岡谷鋼機有限公司(中国)、上海岡谷鋼機有限公司(中国)、台湾岡谷鋼機有限公司、韓国岡谷鋼機会社、豪州岡谷鋼機会社、Poland Tokai Okaya Manufacturing Sp. z o.o.、Union Autoparts Manufacturing Co., Ltd.(タイ) 他

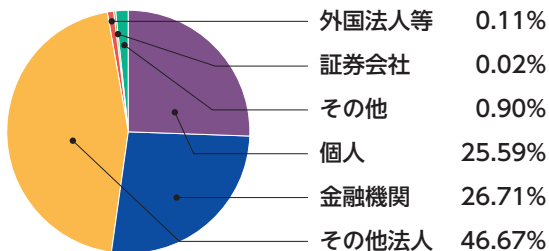
株式の状況 (平成25年2月28日現在)

株式の状況

| | |
|----------|--------------|
| 株式数 | |
| 発行可能株式総数 | 177,856,000株 |
| 発行済株式の総数 | 48,600,000株 |
| 株主数 | 3,373名 |

株式分布状況

所有者別割合



大株主の状況

| 株主名 | 持株数 千株 | 持株比率 % |
|---------------|-----------|-----------|
| 岡谷不動産株式会社 | 6,071 | 12.60 |
| 岡谷篤一 | 2,407 | 4.99 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 2,314 | 4.80 |
| 新日鐵住金株式会社 | 2,120 | 4.40 |
| 三井住友信託銀行株式会社 | 2,010 | 4.17 |
| 株式会社りそな銀行 | 1,327 | 2.75 |
| 日本興亜損害保険株式会社 | 1,085 | 2.25 |
| 岡谷鋼機社員持株会 | 879 | 1.82 |
| オークマ株式会社 | 776 | 1.61 |
| 公益財団法人真照会 | 693 | 1.43 |

- (注) 1. 持株比率は自己株式(423,517株)を控除して計算しております。
 2. 公益財団法人真照会は、将来社会に貢献し得る人材を育成し、併せて学術・技芸の振興を図るために必要な奨学援助をなすことを目的として、大正6年に創設されました。

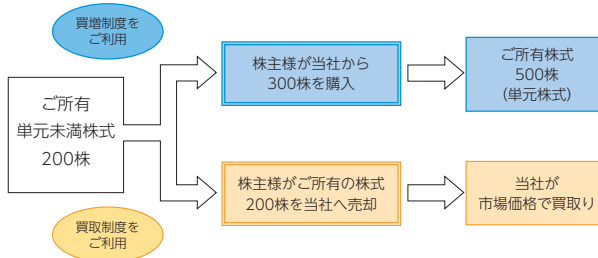
株式に関するお知らせ

単元未満株式の買取・買増請求について

当社の株式は1単元が500株となっており、単元未満株式(1~499株)については市場での売買はできませんが、当社に対して買取請求(売却)、または500株(1単元)となるよう買増請求(購入)をすることができます。お手続きの方法および用紙のご請求は、裏面記載の連絡先にお申し出ください。

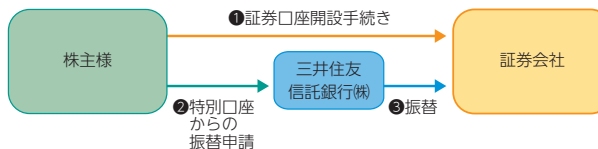
【単元未満株式買増・買取制度例】

○単元未満株式200株をご所有の株主様の場合



特別口座から証券会社の口座への振替申請について

特別口座*に記録されている株式については、特別口座のままでは売買できません(単元未満株式を除く)。様々なお手続きを円滑に行うためにも証券会社の口座への振替申請をお勧めします。



*特別口座
株券電子化前にほふり(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった場合に、当該株式が記録される口座です。

株主メモ

ホームページのご案内

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで
 定時株主総会 5月
 配当金支払株主確定日 期末配当 2月末日

中間配当 8月31日

公告の方法

電子公告
 ただし、電子公告によることができない
 やむを得ない事由が生じたときは、日本
 経済新聞に掲載いたします。

電子公告掲載ホームページアドレス

<http://www.okaya.co.jp/ir/pn/>

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

三井住友信託銀行株式会社

連絡先 〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

取次事務は三井住友信託銀行株式会社の
 全国本支店で行っております。

岡谷鋼機のホームページでは、決算短信
 等の詳しい財務データや各種IR情報を掲載
 しています。
 是非一度ご覧ください。



IR情報はこちらから
 お入りください。

・岡谷鋼機ホームページアドレス
<http://www.okaya.co.jp/>

株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、①証券会社の口座に記録されている場合と、②特別口座に記録されている場合で、下記のとおり異なりますので、該当の窓口にお問い合わせください。

| 証券会社の口座に記録された株式 | |
|--|-----------------------|
| お手続き、ご照会の内容 | お問い合わせ先 |
| <ul style="list-style-type: none"> 単元未満株式の買取・買増請求 届出住所・姓名などのご変更 配当金の受領方法・振込先のご変更 | □座を開設されている 証券会社 |
| <ul style="list-style-type: none"> 郵送物の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問い合わせ | 三井住友信託銀行 株式会社証券代行部 |

| 特別口座に記録された株式 | |
|---|-----------------------|
| お手続き、ご照会の内容 | お問い合わせ先 |
| <ul style="list-style-type: none"> 単元未満株式の買取・買増請求 特別口座から証券口座への振替請求 届出住所・姓名などのご変更 配当金の受領方法・振込先のご変更 | 三井住友信託銀行 株式会社証券代行部 |
| <ul style="list-style-type: none"> 郵送物の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問い合わせ | |

「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねて
 おります。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分
 方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社にて行われます。確定申告
 を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取の株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封
 させていただきます。

確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。



岡谷鋼機株式会社



見やすく読みまちがえにくい
 ユニバーサルデザインフォント
 を採用しています。



環境に配慮した
 植物油インキを
 使用しています。